

	課題分析	授業改善策
国語	・自身の考えを適切に表現するための語彙が不足している。 ・自身の考えを文章にして適切に表現することを苦手とする生徒が多い。	・授業者が豊かな語彙を使って授業を行う。また、ワーク等を活用して多くの語彙に触れ、言葉の意味を調べたり、短文を作ったりするよう促す。 ・自身の考えを短い文で表現させることから始め、書くことへの抵抗感を減らす。また、考えを小グループで共有し、他者の文章表現に触れ、自身の表現に生かすよう促す。
社会	・基礎的な知識・技能の定着に課題のある生徒が多い。 ・根拠に基づかず、思いつきで発言する傾向がある。	・授業時に、確認問題を計画的に行うなどして、基礎的な知識・技能の定着を図る機会をつくる。 ・発言や意見をまとめる際に根拠を示すように個に応じた指導を適宜行う。
数学	・分数、小数の計算について、定着していない生徒がいる。 ・自主的・継続的な学習および家庭学習の定着に課題のある生徒が多い。 ・「理解したい」、「教えてもらいたい」という気持ちをもっている生徒が多い。	・授業の中で、答が分数や小数になるものを出题して、計算の形を繰り返し確認させる。 ・小テストを行う前に、課題のプリントを配布し、事前に家庭で学習する習慣を身につけさせる。 ・プリントで個別に学習するとき、自分で取り組むことができない生徒に、机間指導を行い、学習意欲を促す。
理科	・理科に興味関心が高く、真面目に学習に取り組む生徒が多い。 ・発問に対して、活発に意見交換を行うことができる。 ・生徒間の学力差が大きく、個別支援が必要な生徒が数名いる。	・教室のICT機器の活用や実験の回数を増やして、生徒の興味関心をさらに高め、基礎学力の定着と向上を図る。 ・話し合いが苦手な生徒もいるので、適宜指名しながら、本人の考えを引き出して自信をもたせる。 ・実験時は学校生活支援員が授業に入り、個別支援および事故防止を図っている。
音楽	・歌唱等の活動は意欲的に取り組み、鑑賞等では楽曲を聴いて感じたことや考えたこと、そのよさや特徴を文章で説明することができる生徒がいる一方、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて文章で説明することが困難な生徒がいる。 ・楽曲を構成する基礎的な要素（知識）の理解が低い、またはできていない生徒がいる。	・歌唱の活動をする上で、基礎的な要素（知識）を理解することや楽曲を聴いてそのよさを表現することは大切なことであることを理解させ、学習意欲を向上させる。 ・鑑賞においては、発問方法の工夫や発問の具体化を図りながら、楽曲を聴く、表現を感じて考えをもつ、その感じたことや考えを文章や表現で示す、の流れを身に付けさせる。
美術	・形の美しさを捉え、陰影や質感、色味を表現することが難しい生徒が多い。 ・著名な芸術家を知っている生徒が多いが、身近にあふれる美術に気づいていない生徒もいる。	・基礎的な技能を身に付けさせるために適切な材料や道具を教え、机間指導を積極的に行う。 ・より美術への興味関心を引き出させるよう導入などで生徒の身近にある美術について触れ、見方、感じ方を広げさせる。

保健体育	・全身持久力やスピード、筋力等、全体的に体力面での課題がある。 ・体を動かすことが苦手な生徒の中に意欲的にやってみようとする姿勢が乏しい生徒がいる。 ・ペアやグループ等で話し合い課題を解決しようとする姿勢が身についていない。	・体力面においての課題は授業の始めには毎回体力向上の内容を組み、年間で向上を図る。 ・失敗をしてもチャレンジしたことを評価できるような授業の雰囲気をつくり教え合いの授業となるようにする。 ・話し合いを行うことで個人やチームで行う質が高まることを実感させる。
技術・家庭	・学習に前向きに取り組む。 ・木材加工において、技能に個人差が見られる。 ・創意工夫や想像力を高める必要がある。	・身近な製品などを観察させ、この形状が適している理由を考えさせることで、設計や加工など製作に関して興味関心を高めている。
外国語（英語）	・コミュニケーションが苦手な生徒が、Speakingの活動に主体的に取り組めていない。 ・be動詞と一般動詞を混同している生徒が多い。 ・英単語が定着していない。	・最初は準備時間を十分にとる。慣れてきたら即興性をもつ活動を徐々に取り入れていく。 ・活動の中で学ばせていくが、文法がきちんと定着しているか確認する時間も設定する。 ・日頃から単語テストを行い、語彙を身に付けさせる。